

## ・謝辞

本研究は、筆者が科学技術庁金属材料技術研究所に入所から現在までに行った研究の一部をまとめたものです。入所直後から今日まで研究生活全般のことをご指導いただいた岸本直樹ユニットリーダー（金材技研、筑波大連携大学院教授）に心から感謝致します。

本論文の主査をしていただいた村上浩一先生（筑波大）に大変感謝致します。また副査をしていただいた水林博先生、秋本克洋先生、山部紀久夫先生（筑波大）に大変感謝致します。

本論文をまとめる機会を与えていただいた金属材料技術研究所 岡田雅年所長、斎藤鉄哉研究給務官、吉原一紘極限場センター長に感謝致します。サイクロトロン加速器の共同使用に好意的に応じていただいた第2 G 第2 S G（原子炉材料研究）永川城正博士、山本徳和博士、村瀬義治氏に感謝致します。また、共同研究者でもある精密励起場ステーション複合励起場ユニットの各位に感謝します。

大学院修士時代、そして卒業後もいろいろとご指導いただいた眞隅泰三先生（元東京大学教授、現金材技研）に感謝致します。

宇宙用太陽電池の急劣化の問題で、情報交換および議論いただいた久松正博士（元宇宙開発事業団、現(株)シャープ）、梨山勇博士、大島武博士（原研高崎）、山口真史教授（豊田工大）、松田純夫博士（宇宙開発事業団）、CERN 巨大陽子-陽子衝突実験用の耐放射線性 Si 検出器に関して議論していただいた Dr. B. MacEvoy (Imperial College, UK) と Dr. K. Gill (CERN) に感謝致します。

Dr. S. Mantl と Dr. Ch. Buchal (Forschungszentrum Juelich) の両教授をはじめとした Juelich の諸氏の激励にも感謝致します。また大場道子さんのご支援に感謝致します。母ユリ子の支援にも感謝します。

そして、妻理奈の協力には本当に感謝しています。彼女の協力無しでは本論文を完成することができませんでした。

平成11年7月 雨倉 宏